まちづくり懇談会議事録

日 時：平成30年10月31日（水） 18：19～20：23

場 所：桜山会館

出席者：14人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第6次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談
5. その他
(1) 地域の防災対策について（資料④）
6. 閉会

《懇談会内容》

意見：栗山高校は生徒数の減少が続いているようだが、現在のクラス数の維持が望ましい。

意見：在学中、町内に住む学生や卒業後に町内で就職する学生がいるのは知っているが、どのような恩恵があるのか、あまり感じられない。

意見：近隣と連携して総合病院を設置するのも有効かもしれないが、身近にあることが望ましい。日赤建て替えの決断も必要だと思う。

意見：栗山町スキー場は、以前から使用できなくなれば廃止という話も出ていた。近隣のスキー場を利用するのも一つの手ではないか。

要望：大雪ハウスからエホバ、道道へ抜ける幹線で農免道路の舗装実施、また、安全対策として道道脇の草・木の刈り取りを要望したい。

建設課：道路の舗装は杵臼本線から道道までを予定しており、今年度は130mの工事を実施している。本沢入り口のカーブ改修を計画している。道道脇の刈り取りは道に安全面確保の面から要望を行っていく。

町長：町内の広域道路網整備を行っている。また、町内の幹線のみでなく、広域での整備を検討していく。

要望：秋祭りの露店は商店街側を向いている。歩行者天国から露店を見られる形にした方が良くはないか。

意見：日赤の問題も、スキー場の問題も個人的な要望が多くあがると思うが、広域での実施検討も含めて、取捨選択し決断してほしい。

意見：若い世代の給料が安い、公共料金が高い、アパート等が高いなどの理由で町外に移った知人がいる。

町長：本町はお話しいただいた現状にある。町外から学校や会社に通う若者世代は多く、その層をターゲットに分譲地、公営住宅などの住宅政策や子育て政策を行い、定住化を図っていく。

提言：介護福祉学校生は町内にアパートなどを借りて住んでいるが、通いやすい環境といえるのか。資金面での補助などの検討が必要だと思う。

意見：町内には産婦人科がなく、検診などでは自家用車を利用している人が多くいる。タクシー費用などの補助があった方がよい。

提言：岩見沢のスキー場には江別や野幌からの利用客が多くいる。必ずしも町内にスキー場が必要だとは思わない。以前から老朽化は周知のことであり、今回を機に廃止したほうが良いと思う。跡地の活用は、ハサンベツ里山などと絡めて集客などを検討してほしい。

意見：近隣4町で高校があるのは、栗山と長沼の2校だけになっている。2クラスの維持をしてほしい。

町長：栗山高校の魅力づくりが必要になっている。町民委員会による検討、総合教育会議による協議を併せて実施し、進めていく。

意見：18歳まで子ども医療費助成制度の町内外来受診の拡大をしてほしい。

福祉課：ご意見を参考に子ども医療の拡大だけでなく、高齢者なども含め検討していく。

質疑：近隣などと広域合併の計画はあるのか。

町長：人口減少の中で町政を維持するため、地域経済の循環、地域資源の発信、定住者の促進などを進めていく。10年～15年先には、全国的な市町村合併があると想定している。今後の状況にもよるが、私は合併も選択肢の一つだと考えている。